

背景

- 近年、国内外においてIPv6の利用が急速に増加。IPv6は、導入の初期段階を終え、普及拡大期に突入しつつある。
- 平成28年1月に取りまとめた「第4次報告書」においては、移動通信事業者におけるIPv6対応等を提言
- 平成29年3月に公表した進捗状況において、
 - ・ MNO3社が、2017年度中にスマホユーザーが意識せずにIPv6の利用を始めている状況にすることを表明
 - ・ NTT東西の提供するFTTH回線であるフレッツ光ネクストにおけるIPv6普及率が、2017年3月時点で30%を突破等、我が国におけるIPv6通信環境の整備は着実に進展しつつある。
- IPv6の仕様決定から20年が経過し、実装技術が成熟。技術文書も豊富に存在し、未対応機器は殆どない状態



今後のIPv6の普及促進の在り方や
新たな目標設定検討が必要

検討事項

- 第4次報告書のフォローアップについて
- IPv6の普及促進について
- IPv6の利用促進について
- 今後の取組の新たな目標設定について
- 今回の研究会のとりまとめの位置付けについて

スケジュール案

平成29年10月から平成30年3月までを目処に開催

スケジュール案

これまでの検討経過

平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)
▲ 研究会 発足 (2月)	▲ 中間 報告書 公表 (6月)	▲ 第2次 報告書 公表 (3月)	▲ 第3次 報告書 公表 (12月)	▲ 第1次 プログレス レポート 公表(7月)	▲ 第2次 プログレス レポート 公表(7月)		▲ 第4次 報告書 公表 (1月)	▲ 進捗 状況の 公表 (3月)	

今後の検討スケジュール案

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		▲ 第35回 (10/16)	▲ 第36回 (11/13)	▲ 第37回 (12/12)	▲ 第38回 (1/12(仮))	▲ 第39回 (2/6(仮))	▲ 第40回 (3/20(仮))
<ul style="list-style-type: none"> ○研究会の進め方案 ○国内外のIPv6対応状況 (更新) ○第4次報告書のフォローアップ <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業等分野横断毎のIPv6対応に向けた取組状況 (2) 分野横断的課題に関する進展 		<ul style="list-style-type: none"> ○第4次報告書のフォローアップ <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業等分野横断毎のIPv6対応に向けた取組状況 (2) 分野横断的課題に関する進展 		TBD	<ul style="list-style-type: none"> ○論点整理 ○プログレスレポート骨子 ○報告書骨子 	<ul style="list-style-type: none"> ○プログレスレポート案 ○報告書案 	<ul style="list-style-type: none"> ○プログレスレポート ○報告書